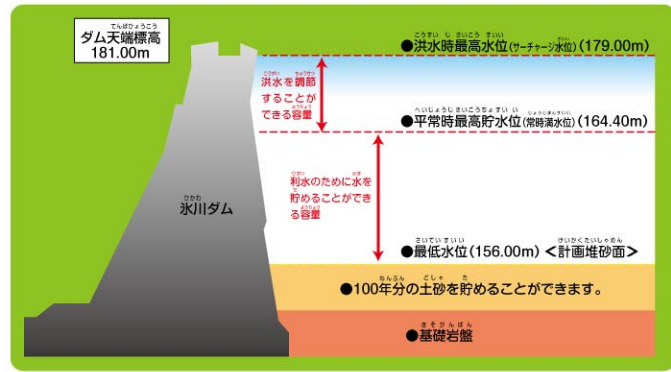


ダム管理所の仕事は？

洪水の管理

大雨が続き洪水の危険性が高まってきたとき、管理所では警戒体制に入ります。必要な洪水調節を正確に行う



ために
ダム周辺の雨量やダム湖への流入量などを予測に基づいて、洪水調節量を計算し、ゲートを作ります。



情報管理



日頃から気象、雨量、水量、水位など広範な水文情報を集計・分析しています。いざというときは、関係諸機関と緊密な連携のもと、氷川ダムの機能を最も効率的に動かすことができるよう情報管理システムが確立されています。

平常の管理

ダム堤体内の水圧や漏水量の測定をしたり、貯水池の水質の調査をしたりしています。

このような日常の管理によって、いざというとき氷川ダムはその目的を十分に果たすことができます。



下流への巡視・警報

サイレンや警報表示板で伝える。さらに警報車で巡視。

放流開始

ある一定の水位を越すと予想される場合は放流を開始。

洪水調節

さらに流入量が増えたら洪水調節を実施。

